



2019年7月25日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード8739 東証第一部)

「未来創生 2号ファンド」
イノベーションテックカンパニー VISITS Technologies 社への投資実行
— 創造性を科学し、世界中の誰もが社会価値創造に貢献できる社会を実現 —

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018年7月に設立した「未来創生 2号ファンド」が、合意形成アルゴリズム「コンセンサス・インテリジェンス技術」(以下、「CI 技術」という)と呼ぶ特許技術をコアにイノベーション創発を支援する VISITS Technologies 株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本勝。以下 VISITS Technologies という)への投資を実行しましたので、お知らせいたします。同社は今回の資金調達で CI 技術を活用したイノベーション創発プロダクトの開発体制を強化し、事業展開スピードを加速させます。

■ 投資先企業の概要

VISITS Technologies は、「イノベーションは科学でき、誰でも起こせるようになる」というビジョンの下、独自の特許技術である合意形成アルゴリズム(CI 技術)を確立しました。人材採用、人材育成、組織作り、新事業創生など、あらゆる企業活動の場面でイノベーションがキーワードとなっています。同社の開発した CI 技術は、イノベーション創出過程において、多数のアイデアをネットワーク理論をベースに科学的に解析し、共感性や納得性を最大化する指標を導きます。これにより、イノベティブなアイデアを客観的に選定することや、人材や組織のイノベーション能力を高めるツールとして用いることができます。同社は2019年4月に官公庁及び大手企業約60社が参加する「イノベーションテック・コンソーシアム」を発足し、CI 技術を活用したイノベーション創発を強力に支援しています。

■ 「未来創生（1号）ファンド」及び「未来創生 2号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2号ファンドの運用を開始しました。2019年6月末時点の運用資産残高は、1号と2号あわせて、1093億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com